

久慈警察署庁舎ほか新築工事設計業務 簡易公募型プロポーザルに係る手続開始の公告

次のとおり技術提案書の提出を招請します。

平成 29 年 12 月 18 日

岩手県知事 達 増 拓 也

1 業務概要

- (1) 業務名 久慈警察署庁舎ほか新築工事設計業務
- (2) 業務内容 久慈警察署、県北運転免許センター及び高速道路交通警察隊久慈分駐隊庁舎等の新築に係る基本設計及び実施設計業務
- (3) 履行期限 平成 31 年 3 月 20 日（水）

2 参加表明書の提出者に要求される資格

(1) 単体企業

- ア 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 第 1 項及び第 2 項各号の規定のいずれにも該当しない者であること。
- イ 建築士法（昭和 25 年法律第 202 号）第 23 条第 1 項の規定に基づく一級建築士事務所の登録を受けている者であること。
- ウ 民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づき更生手続開始の申立てをしている者若しくは再生手続開始の申立てがなされている者（同法第 33 条第 1 項の規定による再生手続開始の決定を受けた者を除く。）又は会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づき更生手続開始の申立てをしている者若しくは更生手続開始の申立てがなされている者（同法第 41 条第 1 項の規定による更生手続開始の決定を受けた者を除く。）でないこと。
- エ 岩手県の平成 28・29 年度建設関連業務競争入札参加資格者名簿の建築関係建設コンサルタント業務に登録され、意匠を申請業務としている者で、岩手県内に本店を有すること。
- オ この公示をした日から技術提案書の提出期限の日までの間に、岩手県から建設関連業務に係る指名停止等措置基準に基づく指名停止の措置を受けていない者であること。
- カ 一級建築士が 2 名以上在籍すること。
- キ 平成 19 年 4 月 1 日以降に、元請として、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄筋コンクリート造で 3 階建以上かつ延床面積 2,500 m²以上の建築物の新築工事又は改築工事に係る設計業務を行った実績を有すること（共同企業体の構成員として行った設計業務については、出資比率が 20 パーセント以上のものに限るものとし、その延床面積にあっては、当該設計業務に係る建築物の延床面積に当該共同企業体の代表となった構成員の出資比率に対する当該者の出資比率の割合を乗じて得られた面積を設計業務の実績として認めるものとする。）。
- ク 次に掲げる基準を満たす者を管理技術者（業務の成果品の品質を維持、確保するため業務をつかさどる者をいう。以下同じ。）として 1 に示した業務に配置することができること。

- (ア) 一級建築士
 - (イ) 参加表明書の提出期限の日前3か月以上継続して雇用している者であること。
- (2) 共同企業体
- ア 2者の構成員からなる任意に結成された共同企業体であること。
 - イ 共同企業体の各構成員は、次に掲げる要件を満たしていること。
 - (ア) 地方自治法施行令第167条の4第1項及び第2項各号の規定のいずれにも該当しない者であること。
 - (イ) 建築士法第23条第1項の規定に基づく一級建築士事務所の登録を受けている者であること。
 - (ウ) 民事再生法に基づき更生手続開始の申立てをしている者若しくは再生手続開始の申立てがなされている者(同法第33条第1項の規定による再生手続開始の決定を受けた者を除く。)又は会社更生法に基づき更生手続開始の申立てをしている者若しくは更生手続開始の申立てがなされている者(同法第41条第1項の規定による更生手続開始の決定を受けた者を除く。)でないこと。
 - (エ) 岩手県の平成28・29年度建設関連業務競争入札参加資格者名簿の建築関係建設コンサルタント業務に登録され、意匠を申請業務としている者であること。
 - (オ) この公示をした日から技術提案書の提出期限の日までの間に、岩手県から指名停止等の措置を受けていない者であること。
 - ウ 構成員のいずれかは、岩手県内に本店を有する者であること。
 - エ 共同企業体の代表となる構成員は、次に掲げる要件を満たしていること。
 - (ア) 一級建築士が2名以上在籍すること。
 - (イ) 平成19年4月1日以降に、元請として、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄筋コンクリート造で3階建以上かつ延床面積2,500㎡以上の建築物の新築工事又は改築工事に係る設計業務を行った実績を有すること(共同企業体の構成員として行った設計業務については、出資比率が20パーセント以上のものに限るものとし、その延床面積にあっては、当該設計業務に係る建築物の延床面積に当該共同企業体の代表となった構成員の出資比率に対する当該者の出資比率の割合を乗じて得られた面積を設計業務の実績として認めるものとする。)
 - (ウ) 次に掲げる基準を満たす者を管理技術者として1に示した業務に配置することができること。
 - a 一級建築士
 - b 参加表明書の提出期限の日前3か月以上継続して雇用している者であること。
 - (エ) 構成員のうちで出資比率が最大であること。
 - オ 共同企業体の代表とならない構成員は、次に掲げる要件を満たしていること。
 - (ア) 一級建築士及び二級建築士が合わせて2名以上在籍し、うち一級建築士が1名以上であること。
 - (イ) 平成19年4月1日以降に、元請として、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄筋コンクリート造で3階建以上かつ延床面積1,200㎡以上の建築物の新築工事又は改築工事に係る設計業務を行った実績を有すること(共同企業体の構成員として行った設計業務について

は、出資比率が 20 パーセント以上のものに限るものとし、その延床面積にあつては、当該設計業務に係る建築物の延床面積に当該共同企業体の代表となった構成員の出資比率に対する当該者の出資比率の割合を乗じて得られた面積を設計業務の実績として認めるものとする。)

(ウ) 出資比率が 20 パーセント以上であること。

3 技術提案書の提出者を選定するための基準

- (1) 技術提案書の提出者の能力
 - ア 同種業務の実績
- (2) 配置を予定する技術者の能力
 - ア 資格及び経験
 - イ 同種業務の実績
 - ウ 委託業務成績

4 技術提案書を特定するための評価基準

- (1) 技術提案書の提出者の能力
 - ア 同種業務の実績
- (2) 配置を予定する技術者の能力
 - ア 資格及び経験
 - イ 同種業務の実績
 - ウ 委託業務成績
- (3) 業務の実施方針及び手法
 - ア 業務内容の理解度及び業務に対する取組意欲
 - イ 業務の実施方針の的確性、独創性及び実現性
 - ウ 技術提案の的確性、独創性及び実現性

5 手続等

- (1) 担当部局

郵便番号 020-8570 岩手県盛岡市内丸 10 番 1 号
岩手県県土整備部建築住宅課施設整備担当
電話番号 019-629-5955
- (2) 説明書の交付期間及び交付方法
 - ア 交付期間 平成 29 年 12 月 18 日 (月) から
 - イ 交付方法 岩手県公式ホームページ (<http://www.pref.iwate.jp/>) に掲載する。
- (3) 参加表明書の提出期限、提出場所及び提出方法
 - ア 提出期限 平成 30 年 1 月 11 日 (木) 正午
受付期間は、平成 29 年 12 月 18 日 (月) から平成 30 年 1 月 11 日 (木) までの岩手県の休日に関する条例 (平成元年岩手県条例第 1 号) に規定する県の休日 (以下「休日」という。) を除く日の午前 9 時から午後 5 時まで (最終日

は正午)

イ 提出場所 (1)の場所

ウ 提出方法 郵送(書留郵便・配達証明)に限る。尚、提出期限までに到達したものに限り受け付ける。

(4) 技術提案書等の提出期限、提出場所及び提出方法

ア 提出期限 平成30年1月26日(金)午後5時

受付期間は、平成30年1月22日(月)から平成30年1月26日(金)までの休日を除く日の午前9時から午後5時まで

イ 提出場所 (1)の場所

ウ 提出方法 郵送(書留郵便・配達証明)に限る。尚、提出期限までに到達したものに限り受け付ける。

(5) 質問の受付期間、受付場所、提出方法及び回答方法

ア 質問様式 質問がある場合は、別添様式(様式8、A4判)による。

イ 受付期間 平成29年12月18日(月)から平成29年12月25日(月)正午まで

ウ 受付場所 (1)の場所

エ 提出方法 郵送(書留郵便・配達証明に限る。)又は電送若しくは電子メールのいずれの方法でも可能とする。(電話による質問は受け付けない。)

オ 回答方法 質問受付の日から起算して3日(休日を除く。)以内にホームページにおいて回答する。

なお、回答に当たっては、質問を行った者の名称等は公表しない。また、質問の趣旨や内容が不明確なものについては、回答しない場合がある。

6 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨

(2) 契約保証金 納付すること。ただし、会計規則(平成4年岩手県規則第21号)第113条第1項各号に掲げる担保の提供をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、同規則第112条第1号又は第2号に掲げる場合は、契約保証金の納付を免除する。

(3) 契約書作成の要否 要

(4) 関連情報を入手するための照会窓口 5(1)に同じ。

(5) 技術提案書に関するヒアリング 行わない。

(6) 現地確認を行う場合、駐車場は敷地北側長泉寺手前右側の駐車場を利用すること。

他への駐車は認めない。また、建設予定地内への立ち入りも禁止する。

(7) その他 詳細は、説明書による。